

空き家・空き店舗



いしい かずまさ 議員
石井 一正



質問者の録画映像
はこちらから

石井

全国的に空き家・空き店舗が増加して社会問題化している。9月の一般質問で「中心市街地160件に対して掘り起こしに今後力を入れる」との答弁だが、商工会や地域住民に対する情報提供はどのようにしているのか。

須賀川市は、郡山市や県内外の5企業と組んでプロジェクトを始動させた。市内大町の空き家で再利用できる見込みがあるガラスや家具、金属部材などを調査し、発生する廃材や家具などを再利用することで費用の一助とする仕組みづくりを行っている。

産業課長

町のホームページ等で空き家バンクや空き店舗情報の情報提供を行っている。今後は情報管理や情報発信の在り方を見直し、適切な情報提供に努める。また、中心市街地に空き店舗が増えて

■小売店舗の家賃補助（中心市街地）

対象事業	補助率			限度額
	1年目	2年目	3年目	
新規創業者	10/12以内	7/12以内	4/12以内	年間300万円まで (月額25万円まで)
新規創業者以外	8/12以内	6/12以内	4/12以内	年間240万円まで (月額20万円まで)

■小売店舗の家賃補助（郊外）

	1年目	2年目	3年目
補助率	8/12以内	6/12以内	4/12以内
限度額	年120万円（月10万円）		

三春町賑わい創出事業

Q 地域住民への
情報提供は

A 町ホームページでの情報発信を見直していく

モンベル効果



かげやま つねみつ 議員
影山 常光



質問者の録画映像
はこちらから

影山

モンベル誘致をきっかけに、町活性化に向けた取り組みを確認する。総事業費18億円、町の実質負担額は。

企画政策課長

約7億8千800万円を見込んでいる。

影山

利用客数の目標と実績は何か。

企画政策課長

目標の10万人以上に對し、ほぼ半年で9万5千人となっている。

影山

相乗効果として、三春の里の客層・客数・売上額の推移は。

企画政策課長

家族連れが増え、利用客数で約1割、売上額で約2割の増加となっている。

影山

周辺の賑わいの拠点づくりはどのように考えているか。

企画政策課長

ダム周辺の施設を活用したい。



モンベルから街なかへ

影山

町の活性化・街なか誘導の施策・実績、情報発信は。

企画政策課長

まちナビカードは49店舗が参加し、1万

8千枚のカードを持ち帰ってもらった。まちナビカードやモンベルフレンドショップの店舗数の増加に向け、商工会・こおりやま広域圏とも連携し進めたい。

影山

事業の効果を追求してほしい。

町長

関係者と協力しながら三春町を豊かにするような方法を進める。事業の効果については、継続して確認していきたい。